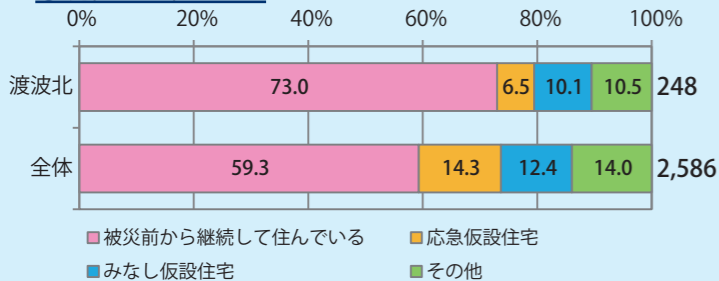


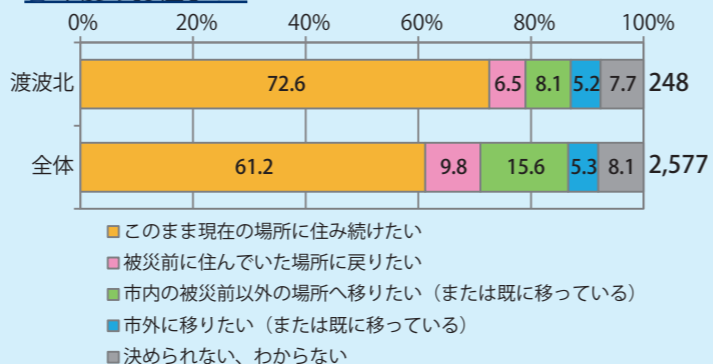
アンケート結果

平成25年12月から平成26年1月にかけて、被災時に東部地区にお住まいの約6,000世帯の方に、アンケートを実施しました。主な設問と結果は、次のとおりです。

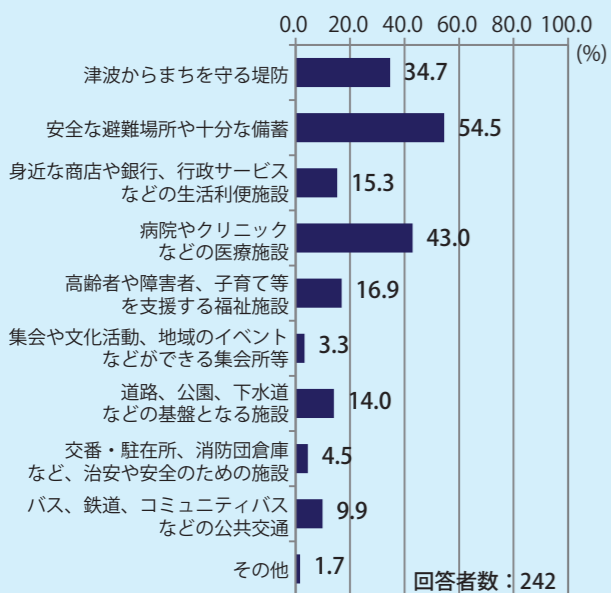
●現在のお住まい



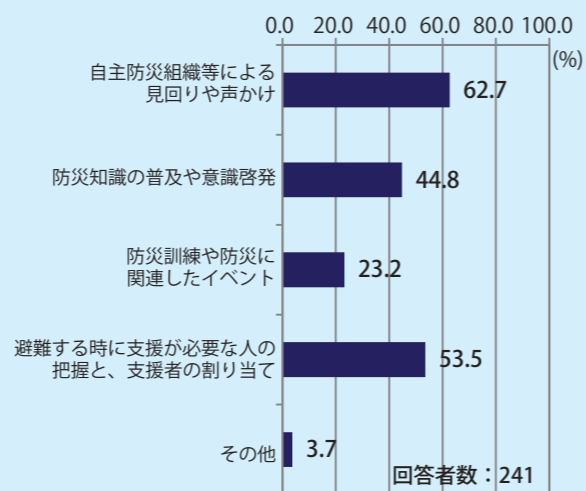
●今後のお住まい



●住み続けるために重要と考えられる施設



●安全・安心のために有効と思う活動



今後の進め方

皆様からいただいた意見について、市では新たな財政措置が必要な課題や、より積極的に解決に取り組むべき案件などを整理・調整し、市としての方針や方向性のとりまとめを行いました。

それを、湊地区の町内会長連合会、渡波地区の行政区長会にてお示した後、市が策定する震災復興基本計画実施計画へ反映させるなど、具体化させていきたいと考えています。

お問い合わせ先

石巻市 復興政策部 地域協働課
 TEL：0225-95-1111(代表)
 FAX：0225-22-4995
 E-mail：iscviact@city.ishinomaki.lg.jp

皆さまのご意見をお待ちしています



東部地区復興まちづくり

だより

Vol.1

渡波北地区

塩富一 塩富二 後生橋 宇田川 万石町

石巻市では現在、“どうすれば安心して暮らし続けることができるのか” “どうすれば仮設住宅等にお住まいの方々が戻ってこられるのか”をテーマとした東部地区*の復興まちづくりに、住民の皆さんとともに取り組んでいます。その一環として、昨年11月末から地区別に2度の意見交換会を開催しましたので、その結果をお知らせします。

※東部地区とは・・・
 旧北上川より東側の市街地のうち、津波による被害が大きく、かつ土地区画整理事業等の事業を行わない地区を指します。



平成26年8月
 石巻市 復興政策部 地域協働課

第1回意見交換会を開催しました【平成25年12月3日（火）会場：万石町集会所 住民出席者：32人】

平成25年12月3日 万石町集会所にて、渡波北地区の合同意見交換会をとり行いました。

主な意見：

- ・赤堀の両サイドに堤防を作ってほしい。
- ・川から水が逆流して入ってくる箇所がある。
- ・水産高校の南側の道路を暫定的に嵩上げしているが、側溝が雨水を流しきれておらず家の敷地に流れてくる。整備はいつになるのか？
- ・震災時からこの一帯は、台風等がくるとひざ下（30cm）まで浸水する。
- ・ポンプ場の機能強化を！
- ・ポンプに流れていくまでの間に、側溝から水があふれて浸かってしまうので何とかならないか。
- ・堀の水が汚く、臭いのできれいにしてほしい。堀に蓋をすることが出来ないか。
- ・嵩上げしている道路で水がせき止められ、潮の満ち干の度に泥が上がってくる。
- ・幅員が狭い道路を住民が少しずつ土地を出し合って広くしたいという意見がある。何とかできないか？
- ・渡波地区に医療施設がない。
- ・区画整理事業地内に市立病院を誘致してほしい。
- ・避難訓練の参加者が少ない。
- ・2階建ての駐車場を整備してほしい。
- ・避難路となるため、取揚坂への道路を少しの改良で通行しやすくしてほしい。
- ・車で避難したが、高い場所にとめるところがなかったので、車が流されてしまった。
- ・渡波稲井線の北側、山の上に駐車場+トイレ+ソーラーをつくらうどうか。
- ・水産高校付近に、防災無線が聞こえづらい区域がある。
- ・ある程度の期間生活できる避難場所（避難目標または避難生活避難場所）がない。どこを目指して避難すべきかわからない。
- ・倒壊した紫神社を再建したい。

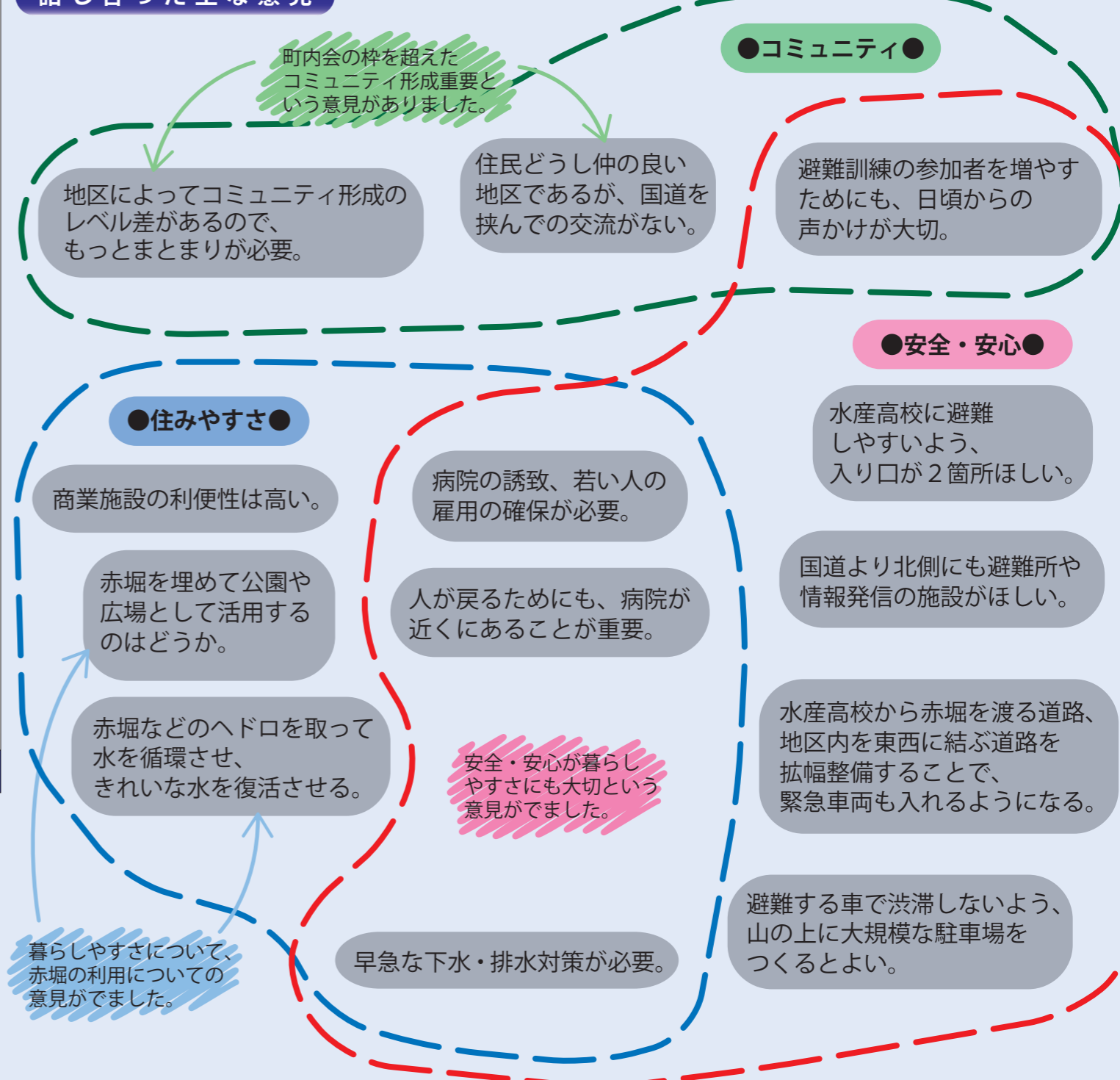


第2回意見交換会を開催しました【平成26年2月26日（水）会場：うしお荘 住民出席者：23人】

意見交換会の様子



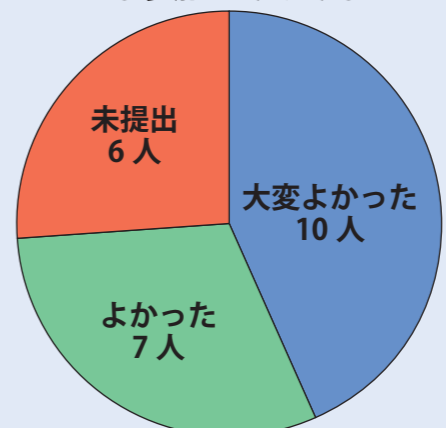
話し合った主な意見



第2回意見交換会に参加した感想・意見等

- ・他の方の意見を聞いて、なるほどと思うことが多かった。
- ・皆様の意見が聞けて良かった。
- ・自分たちの地域の意見交換会には進んで参加してもらいたい。
- ・赤堀、大橋までの防波堤。赤堀をきれいにしてほしい。
- ・皆さんで話し合いをすることは良いですね。

●参加してみて●



- ・県、市の説明を詳細に聞くことが出来るとてもよかった。
- ・大変勉強になった。
- ・高齢者なので、宇田川・後生橋地区内に避難する場合に高台が欲しい。
- ・塩富一丁目の方、近所の方が来ていないので残念。自宅前の状況がもう少し知りたい。